

# スイッチでの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)通知受信者の設定

## 目的

Simple Network Management Protocol ( SNMP ; 簡易ネットワーク管理プロトコル ) は、ネットワーク内のデバイスに関する情報の記録、保存、および共有に役立つネットワーク管理プロトコルです。これにより、管理者はネットワークの問題に対処できます。SNMP通知メッセージ ( トラップ ) は、リモートデバイスの温度などのシステムイベントを報告します。SNMP対応ネットワークデバイスからネットワーク管理ステーションにトラップが送信され、ネットワークの問題のトラブルシューティングが容易になります。システムは、サポートする Management Information Base ( MIB ; 管理情報ベース ) でトラップを生成できます。

次の設定は、SNMP通知受信者を正常に設定するための前提条件です。

- SNMPコミュニティ – SNMPv1およびSNMPv2に必要です。SNMPコミュニティの設定方法については、[ここをクリックしてください](#)。
- SNMPユーザー – SNMPv3に必要です。SNMPユーザーの構成手順については、[ここをクリックしてください](#)。

このドキュメントでは、SNMP通知 ( トラップまたはインフォーム ) の送信先 ( 通知受信者 ) と、スイッチ上の各送信先に送信されるSNMP通知のタイプを設定する方法を説明します。

## 該当するデバイス

- Sx250シリーズ
- Sx300シリーズ
- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx500シリーズ
- Sx550Xシリーズ

## [Software Version]

- 1.4.7.05 — Sx300、Sx500
- 2.2.8.04 — Sx250、Sx350、SG350X、Sx550X

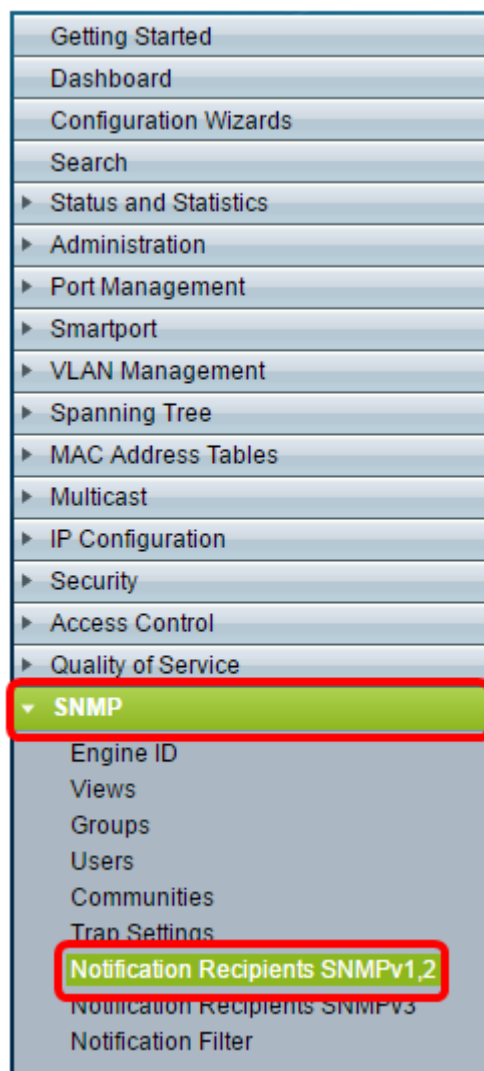
## SNMP通知受信者の設定

### SNMPv1,2の通知受信者の設定

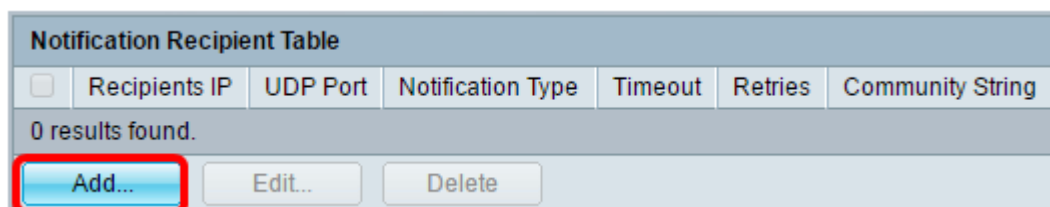
ステップ1: スwitchのWebベースのユーティリティにログインします。

ステップ2:[Display Mode]ドロップダウンリストから[Advanced]を選択します。

ステップ3:[SNMP] > [Notification Recipients SNMPv1,2]を選択します。



ステップ4:[Add]をクリックします。



**ステップ5:** インターネットプロトコル(IP)のバージョンを選択します。次のオプションがあります。

- バージョン6 : 管理ステーションにIPv6アドレスタイプがある場合は、このオプションを選択します。
- バージョン4 : 管理ステーションにIPv4アドレスタイプがある場合は、このオプションを選択します。

Server Definition:  By IP address  By name  
IP Version:  Version 6  Version 4  
IPv6 Address Type:  Link Local  Global  
Link Local Interface:

注：この例では、バージョン6が選択されています。

ステップ6: ( オプション ) バージョン6が選択されている場合は、IPv6アドレスタイプを選択します。次のオプションがあります。

- Link Local：このIPv6アドレスのプレフィクスはFE80で、単一のネットワークリンク上のホストを識別します。リンクローカルアドレスタイプは、ローカルネットワーク上の通信にのみ使用できます。
- グローバル：このIPv6アドレスタイプは他のネットワークに表示されます。

Server Definition:  By IP address  By name  
IP Version:  Version 6  Version 4  
IPv6 Address Type:  Link Local  Global  
Link Local Interface:

注：この例では、[Link Local]が選択されています。

ステップ7: ( オプション ) IPv6アドレスタイプが[Link Local]の場合は、[Link Local Interface]ドロップダウンリストからアドレスを受信するインターフェイスを選択します。

Server Definition:  By IP address  By name  
IP Version:  Version 6  Version 4  
IPv6 Address Type:  Link Local  Global  
Link Local Interface:   
\* Recipient IP Address/Name:   
\* UDP Port:  (Range: 1 - 65535, Default: 162)

注：この例では、[Link Local Interface]は[VLAN 1]です。

ステップ8:[Recipient IP Address/Name]フィールドに受信者デバイスのIPアドレスを入力します。

Server Definition:  By IP address  By name  
IP Version:  Version 6  Version 4  
IPv6 Address Type:  Link Local  Global  
Link Local Interface:   
\* Recipient IP Address/Name:   
\* UDP Port:  (Range: 1 - 65535, Default: 162)

注：この例では、受信者のIPアドレス/名前はfe80:0::eebd:1dff:fe44:5719です。

ステップ9:[UDPポート]フィールドに、受信者デバイスの通知に使用するユーザデータグラムプロトコル(UDP)ポートを入力します。

Server Definition:	<input checked="" type="radio"/> By IP address <input type="radio"/> By name
IP Version:	<input checked="" type="radio"/> Version 6 <input type="radio"/> Version 4
IPv6 Address Type:	<input checked="" type="radio"/> Link Local <input type="radio"/> Global
Link Local Interface:	VLAN 1 ▾
Recipient IP Address/Name:	fe80:0::eebd:1dff:fe44:5719
UDP Port:	<input type="text" value="162"/> (Range: 1 - 65535, Default: 162)

注：この例では、162が入力されています。

[ステップ10](#)：通知タイプを選択します。次のオプションがあります。

- Traps：システムイベントを報告します。このタイプの通知は確認応答されません。
- Informs：このオプションはトラップに似ています。主な違いは、InformがTrapの確認応答形式であることです。このタイプの通知は、SNMPv2で使用できます。

注：「インフォーム」を選択した場合は、ステップ[11に進みます](#)。トラップを選択した場合は、ステップ[13に進みます](#)。

Notification Type:	<input type="radio"/> Traps <input checked="" type="radio"/> Informs
Timeout:	<input type="text" value="22"/> sec (Range: 1 - 300, Default: 15)
Retries:	<input type="text" value="5"/> (Range: 1 - 255, Default: 3)

注：この例では、[Informs]が選択されています。

[ステップ11:\(オプション\)](#)[Timeout]フィールドに、デバイスがインフォームを再送信するまで待機する秒数を入力します。有効な値は1 ~ 300です。デフォルト値は15です。

Notification Type:	<input type="radio"/> Traps <input checked="" type="radio"/> Informs
Timeout:	<input type="text" value="22"/> sec (Range: 1 - 300, Default: 15)
Retries:	<input type="text" value="5"/> (Range: 1 - 255, Default: 3)

注：この例では、22が入力されています。

ステップ12: ( オプション ) [Retries]フィールドに、デバイスがインフォーム要求の送信を試行する回数を入力します。有効な値は1 ~ 255です。既定値は3倍です。

Notification Type:  Traps  
 Informs

Timeout:  sec (Range: 1 - 300, Default: 15)

Retries:  (Range: 1 - 255, Default: 3)

注：この例では、5を入力します。

[ステップ13:](#)[Community String]ドロップダウンリストから通知受信者のコミュニティを選択します。

Community String:

Notification Version:  SNMPv1  
 SNMPv2

注：この例では、TestCommunityが選択されています。

ステップ14：通知バージョンを選択します。次のオプションがあります。

- SNMPv1：このオプションはSNMPv1を使用します。
- SNMPv2：このオプションはSNMPv2を使用します。

Community String:

Notification Version:  SNMPv1  
 SNMPv2

注：この例では、SNMPv1が選択されています。

[ステップ15:\(オプション\)](#)管理ステーションに送信されるSNMP通知のタイプをフィルタする場合は、[通知フィルタの有効]チェックボックスをオンにします。

Notification Filter:  Enable

Filter Name:

注：この例では、[Notification Filter]チェックボックスがオンになっています。

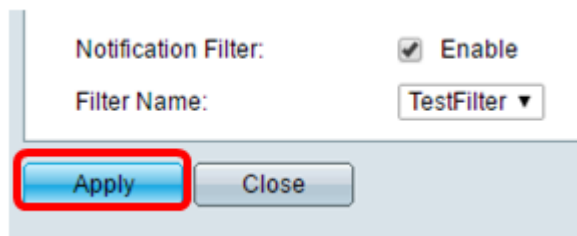
[ステップ16:\(オプション\)](#)通知フィルタが有効な場合は、[Filter Name]ドロップダウンリストから、[Traps]に含まれる情報を定義するSNMPフィルタを選択します。

Notification Filter:  Enable

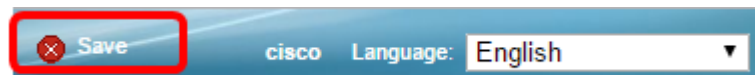
Filter Name:

注：この例では、TestFilterが選択されています。

ステップ17:[Apply]をクリックし、設定を保存します。



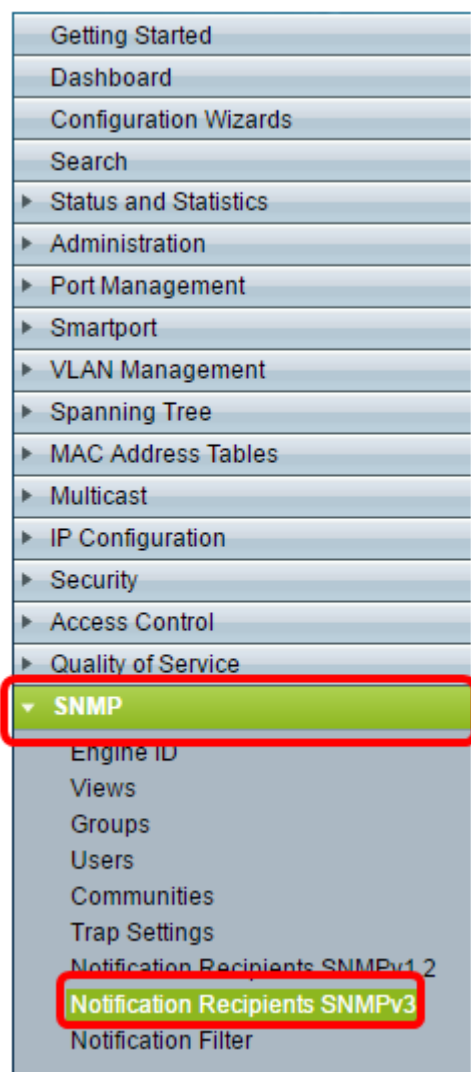
ステップ18:[Save]をクリックし、スタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。



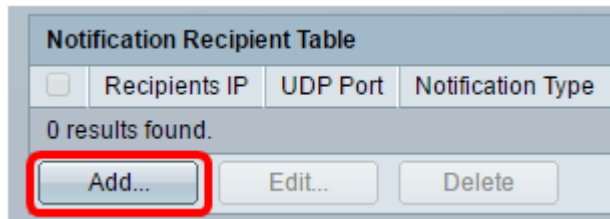
これで、スイッチにSNMP通知が正常に追加されました。

## SNMPv3通知受信者の設定

ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[SNMP] > [Notification Recipients SNMPv3]を選択します。

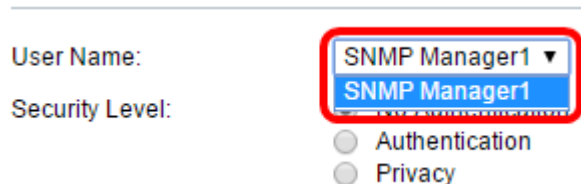


ステップ2:[Add]をクリックし、新しい通知受信者を追加します。



ステップ3：この記事の「[SNMPv1、2通知先の設定](#)」セクションのステップ5～10に従います。

ステップ4:[User Name]ドロップダウンリストから、SNMPv3通知受信者のユーザを選択します。



注：この例では、SNMP Manager1が選択されています。

ステップ5：セキュリティレベルを選択します。次のオプションがあります。

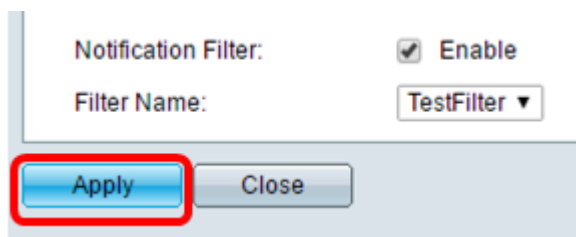
- No Authentication：これは、パケットが認証も暗号化もされていないことを示します。
- Authentication：このオプションは、パケットが認証されているが暗号化されていないことを示します。
- Privacy：このオプションは、パケットが認証および暗号化の両方を受けることを示します。



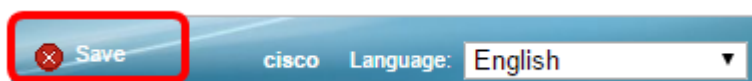
注：セキュリティレベルは、選択したユーザ名によって異なります。ユーザに認証が設定されていない場合、使用可能なセキュリティレベルは[No Authentication only]になります。

ステップ6：この記事の「[SNMPv1,2の通知受信者の設定](#)」セクションのステップ15～16に従います。

ステップ7:[Apply]をクリックして、設定を保存します。



ステップ8:[Save]をクリックします。



これで、スイッチにSNMPv3通知受信者が正常に追加されました。